

BACK GROUND

Carcinosinumは、癌細胞を原料としてつくられたレメディです。一般的にCarcinosinumといえば、乳腺癌を原料とします。その他に現在市販されているものだけでも、各細胞や原発病巣の違いなどから、87種類のCarcinosinumがあります。それぞれのCarcinosinumには、特徴をもったものも多くありますが、ここでは乳腺癌細胞などを含むCarcinosinum mixとして記述します。

癌は細胞分裂を繰り返して、大きな腫瘍を形成していきます。もともと、体の細胞内のDNAの異常は日々起きていますが、通常は細胞内での自己修復能があるために、それが癌細胞として増殖する前の段階で破壊されてしまいます。

ところが、発癌物質、免疫力、ウイルス、ストレス、先天性の遺伝子変異、その他のさまざまな要因によって主に自己修復能力が低下すること、癌細胞を誘発、形成する方向に向ける心身の諸力によって、組織細胞から癌細胞へと移行していきます。発生する部位によっても、発生する細胞の種類によっても、それぞれ異なった性質をもっています。

癌細胞の悪性度が増し、転移が起ると、罹患組織の機能も損なわれ、最終的には、多臓器不全へと進行します。

MATERIAL

癌細胞を滅菌したものを、純水に溶かして原料とします。

FIRST PROVING

Carcinosinumは、BurnettとClarkeによって臨床経験的な使用が行われています。その後、1989年にアメリカのハーネマンクリニックのJonathan Shoreが、このレメディについての研究報告をして以来、広く使われるようになりました。

MIND

Carcinosinumタイプは、何かが生活の中に物足りないような気がします。そのために充足感を得ようとして、働き過ぎたり、自分を限界まで追い込むようなことをしたり、危険な行動に走ったりします。その行動はまるで、体内の癌細胞のようです。ゆっくりと落ち着くことなく、旅行や刺激的な遊びなどへの欲求が

あります。その性質は、転移性癌細胞のようです。

ダンスや音楽を聴くことが好きです。しみじみ聴いて、泣いてしまうこともあります。こういった派手な行動の反面、幼少の頃は虐待や感情的な抑圧を受けていた例も多く見られます。そのためか、動物や自然界のものが大好きです。とくに嵐が好きです。健康に対しての不安をもっていて、とくに家系に癌で亡くなっている人がいるために、自分も癌になることを怖れます。高所や人混みを怖れる例も見られます。

体調は、海岸において海の空気に曝されると、良いほうにも悪いほうにも変化します。食べ物では、バターやチョコレート、酢、塩、甘い物、牛乳、脂っこい物、果物、スープ、スパイシーな物などを好みます(高脂血症になると、癌になりにくくなるという研究報告があります)。ときに、これらの物が嫌いなケースも見られます。喉は渇きます。

Carcinosinumタイプの子供は、繊細で同情心があり、内気な性格をしています。直感が優れています。とくに叱責や批判に対しては、非常に過敏に反応し、機嫌を損ねます。機嫌を損ねると、親の言うことを聞かなくなったり、怒りから破壊的な行動をとることがあります。慰められることも嫌います。動物を飼うことは大好きです。人よりも犬のほうが好きということもしばしばです。思春期になってくると、性衝動がかなり強くなります。

CLINICAL APPLICATIONS

このレメディを適用する人は、とくに癌、結核、糖尿病、悪性貧血が多い家系の場合に使用されます。また、幼少時代に親からの虐待を受けていたケース、また、長期間にわたる恐怖心や不幸を経験したケースにも適用されます。症状がLac caninumのように、左右に移動することがあります。

■各種癌

・悪性腫瘍：体質や疾患に合ったレメディ、あるいはConium, Thuja, Arsenicum albumのようなWide-Spectrum Cancerレメディなどと併用します。どのタイプのCarcinosinumを適用するかは、家族歴や病理検査も加味して考慮します。癌のレメディ併用投与法には各種手法があり、なおかつ病態が深刻な場合が多いので、必ず専門家に相談してください。

■神経系

- ・慢性疲労症候群：疲労と衰弱から筋肉が弱ります。めまいやしびれ、吐き気を伴うことがあります。頭痛も起きますが、少し寝ると楽になります。風邪を引きやすく、持病の疾患が再発しやすい状態になっています。
- ・頭痛：睡眠や仮眠をとることで改善します。主に右側の脳の深い部分がズキズキします。
- ・不眠症：慢性的に不眠傾向をもっています。長期にわたる感情的ストレスと関連があります。落ち着きがなく、体をふるわせます。頭の中にいろいろな考えが浮かんできます。寝ても夜中になると目が覚めてしまいます。午前4時頃から再び眠れません。
- ・子供の不眠症：生まれたときから、落ち着いて眠れません。揺り動かすと眠れます。うつ伏せや胎児のような体位で寝る傾向があります。とくに胎児のように膝を抱えて寝る姿勢は、ふつう、生後3か月までで、別の体位（仰向けやうつ伏せ）に切り替わります。仰向けに寝るときは、両手を上に上げます。
- ・脊椎炎

■消化器系

- ・腹痛：右下腹部に、火が点いたように焼ける痛みがあります。お腹を押したり、折り曲げたり、熱い飲物で楽になります。
- ・便秘：固く乾燥した便です。結腸の蠕動運動が不活発です。
- ・痔
- ・肝炎

■呼吸器系

- ・慢性副鼻腔炎、慢性扁桃炎
- ・喘息：午前10時頃、湿気のある気候や恐怖心でも起こります。咳は、話をしたり、笑ったり、あくび、冷氣、着替えをすると悪化する傾向があります。
- ・結核

■皮膚

- ・湿疹：胸部と背中側、顔にできます。

- ・美容整形前：ケロイド癬痕形成予防として、使用します。
- ・カフェオレ斑
- ・母斑、ホクロ：癌をもつ妊娠女性から生まれた赤ちゃんは、母斑やカフェオレ斑が多いとの報告があります。

■その他

- ・糖尿病：家系に糖尿病の既往歴をもつ人がいます。
- ・関節リウマチ
- ・AIDS
- ・免疫不全症
- ・単球増加症：この疾患以来、ずっと不調が続く場合
- ・腺熱
- ・卵巣嚢胞
- ・月経前症候群

適合するレメディが効果がない場合、効果が長続かない場合：とくに次のレメディの例です。Tuberculinum, Medorrhinum, Syphilinum, Sepia, Natrum mur, Calcarea phosphorica, Dysentery Co, Lycopodium, Lueticum, Phosphorus, Psorinum, Arsenicum album, Arsenicum iodium, Pulsatilla, Sulphur, Opium, Alumina, Staphysagria

MODALITY

- ▶ 睡眠、うたた寝、休息、夜、嵐、夕方、外気など
- ◀ 暖かい部屋、午後1～6時（とくに5～6時）など
海辺、満月、新月、極端な寒暖など。海辺の場合は、人により東海岸で>、西海岸で<、というようなことも起こります。

注）膝を抱えて眠る体位

Carcinosinum の場合は、比較的生後早期に別の体位に切り変わる傾向がありますが Medorrhinum, Tuberculinum, Phosphorus, Sepia, Lycopodium, Calcarea phosphorica などでは、大人になってもこの傾向が持続します。

Carduus marianus オオアザミ [肝臓疾患]

Carduus marianus Gaertn.

BACK GROUND

Carduus marianus は、ヨーロッパから地中海沿岸、

北アフリカ、アジアが原産の、キク科オオアザミ属の1年または2年草、オオアザミ *Silybum marianum* (L.)